

**平成 18 年度**

**観光文化局予算要求方針**

## - 目 次 -

<b>1</b>	<b>平成18年度観光文化局予算要求総括表</b> . . . . .	<b>1</b>
<b>2</b>	<b>18年度予算要求にあたっての基本的考え方</b> . . . . .	<b>2</b>
<b>3</b>	<b>予算要求の重点事項</b> . . . . .	<b>3</b>
	(1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ	
	ア 協働による観光振興とコンベンション事業の推進	
	(2) 芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ	
	ア 芸術・文化の薫る街の実現	
	イ スポーツの魅力あふれる街の実現	
<b>4</b>	<b>事務事業の総点検</b> . . . . .	<b>12</b>
	(1) 事務事業の見直し	
	(2) 受益者負担	
	(3) 団体補助金	

# 1 平成 18 年度観光文化局予算要求総括表

## 【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 17 年度 予 算 額 A	平成 18 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 ( B - A ) / A
観 光 部	740 (576)	836 (713)	96 (137)	13.0% (23.8%)
文 化 部	2,826 (2,301)	2,882 (2,430)	56 (130)	2.0% (5.6%)
ス ポ ー ツ 部	6,933 (4,822)	8,553 (6,671)	1,620 (1,849)	23.4% (38.3%)
合 計	10,499 (7,699)	12,271 (9,814)	1,772 (2,115)	16.9% (27.5%)

1 ( )内は一般財源額

2 本表は百万円単位のため、増減額及び増減率が一致しない場合がある。

## 2 18年度予算要求にあたっての基本的考え方

### 1 魅力あるまちづくりの推進

芸術・文化やスポーツを市民が気軽に楽しむことができる環境を整えることで、創造性豊かで活力のある札幌の文化の創造、発展を促し、この街に住むことに誇りを持てるような魅力あるまちづくりを進める。

### 2 集客交流の促進

札幌が持つ豊かな自然、四季折々の祭りやイベントに加えて、芸術・文化、スポーツなどを新たな集客交流資源として積極的に活用することにより、国内外の多くの人たちが交流し、活気あふれる“集客交流都市 さっぽろ”を実現させる。

### 3 2007年ノルディックスキー世界選手権札幌大会の開催

2007年2月～3月に開催する「2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会」を市民参加のもとに盛り上げ成功に導くとともに、これを契機としてウインタースポーツの振興につなげていく。

### 3 予算要求の重点事項

(1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

#### ア 協働による観光振興とコンベンション事業の推進

来客2000万人を目指し、市民・企業・行政の協働のもとで「おもてなし」の向上を推進するとともに、新たな街の魅力を創造・発掘し、これらを国内外に積極的に発信することにより、集客交流の促進及び地域経済の活性化を図る。

#### 1 集客交流都市としての魅力の発信

100百万円(89百万円)

注:( )内は17年度予算額

さっぽろ雪まつり魅力アップ事業(観光部) 35百万円【新まち等、新規】

「市民参加の促進」と「来場者へのおもてなし向上」に向けた取組として、新会場となる「さとらんど」での市民による自主運営組織への補助や各種事業への助成等を行う。

集客交流・シティPR<sup>1</sup>キャンペーン事業 - 魅力づくり発信プロジェクト -  
(観光部)22百万円【新まち等】

札幌の魅力を多角的にPRすることを目的とした「ビジュアルプロジェクト」に、新たな魅力づくりに対する取組を加え、「魅力づくり発信プロジェクト」として再編し、より効果的な事業展開を行う。

<sup>1</sup> シティPR・・・都市の知名度やイメージの向上を図るための各種PR。

芸術・文化を活用した街の魅力創造・発信事業（観光部）

4 百万円【新まち等】

17 年度におけるモエレ沼公園を中心とした札幌のアート（芸術・文化）による観光プロモーションを継続・発展させるため、モエレ沼公園グランドオープン 1 周年記念事業や、芸術の森開設 20 周年を記念するイベントと連携したプロモーション等に対する事業支援を行う。

ターゲット別国内観光プロモーション事業（観光部）

7 百万円【配分】

首都圏、関西圏及び中部圏からの新たな旅行商品の造成等による札幌への誘客を促進するため、旅行会社の商品企画担当者を対象にした札幌観光に関するセミナーの開催や一般市民向けのキャンペーン等を行う。

国際観光促進事業（観光部）

8 百万円【配分】

中国を中心とした東アジア地域を対象に、国が実施する訪日外国人観光客誘致事業「ビジット・ジャパン・キャンペーン」と連携しながら、メディアを活用したイメージ発信、現地におけるプロモーション活動、商品開発支援等の誘致宣伝事業等を行う。

フィルムコミッション<sup>2</sup>事業費補助 他 2 件（観光部）

24 百万円【新まち等】

## 2 ホスピタリティ向上の推進

11 百万円（17 百万円）

注：（ ）内は 17 年度予算額

集客交流・シティPRキャンペーン事業 - おもてなしプロジェクト -

（観光部）10 百万円【新まち等】

市民、企業との協働による街全体のホスピタリティ向上を目的とした重点的な取組である「おもてなしプロジェクト」において、市民や民間事業者が行うおもてなしの充実に向けた事業に対する支援等を行う。

ホスピタリティ育成支援事業（観光部）

1 百万円【配分】

観光案内所等で活動する観光ボランティアを対象に、札幌の観光知識の取得・向上や観光客に対するマナー向上等を目的とした研修を実施する。

<sup>2</sup> フィルムコミッション・・・映画、テレビドラマ、CM撮影などにおけるロケーションをスムーズに進めるためのさまざまな情報やサービスを提供する支援組織で、自治体の一部署や民間団体又は両者の協力機関で組織する非営利組織。

### 3 コンベンション誘致・支援の推進

13百万円(15百万円)

注:( )内は17年度予算額

集客交流・シティPRキャンペーン事業 - コンベンションプロジェクト -  
(観光部)13百万円【新まち等】

国内外から会議やイベントを積極的に誘致するための重点的な取組である「コンベンションプロジェクト」において、首都圏からコンベンションの主催者等を札幌に招へいする事業や、市内のコンベンション施設を紹介する冊子の作成等を行う。

### 4 住んで快適、訪ねて楽しいまちづくりの推進

34百万円(11百万円)

注:( )内は17年度予算額

藻岩山魅力アップ構想推進事業(観光部)31百万円【新まち等、レベルアップ】

札幌の重要な観光資源の一つである藻岩山について、新たな付加価値づくりとさらなる魅力アップを図るため、市民意見を取り入れて16年度に作成された報告書をもとに、魅力アップに向けた基本的考えと今後の具体的な方向性を表す「藻岩山魅力アップ構想」の策定等を行う。

定山溪観光客誘致関連補助(観光部) 3百万円【配分】

定山溪地区の観光活性化に向けた自主的なまちづくり活動や、来客誘致のための魅力発信事業等に対する補助を行う。

#### 【成果指標】

##### 7.年間来客数

【目標】1,330万人 1,500万人 【効果】+170万人(累計1,500万人)

##### 8.来客の満足度

【目標】83.7% 90.0% 【効果】+6.3%(累計90.0%)

##### 10.コンベンション誘致件数

【目標】842件 1,000件 【効果】+158件(累計1,000件)

## (2) 芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ

### ア 芸術・文化の薫る街の実現

優れた芸術・文化に親しめる環境を充実するとともに、楽しみながら実践し表現・発信できる文化の薫るまちづくりを進める。また、地域の優れた文化遺産の保存と活用を推進する。

#### 1 多様な芸術文化に親しみ、交流・発信する環境づくり

558百万円(425百万円)

注:( )内は17年度予算額

パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助 等(文化部)

236百万円【新まち等】

世界3大教育音楽祭<sup>3</sup>として発展を続けているPMFに対して、事業費の補助等を行う。

札幌交響楽団運営費補助(文化部)

160百万円【新まち等】

北海道唯一のプロオーケストラである札幌交響楽団に対し、運営費の補助を行う。

さっぽろアートステージ事業(文化部)

90百万円【新まち等】

11月を芸術文化月間と位置付け、演劇、音楽、美術などのイベントを複合的・総合的に開催する。

芸術の森アーティスト2006事業費補助(文化部) 64百万円【新まち等、新規】

芸術の森の20周年を契機として、札幌のアートシーンの次なるステップへ向け、芸術の森を中心に様々な事業を実施するとともに、集客交流につなげていく。

<sup>3</sup> 世界3大教育音楽祭・・・パシフィック・ミュージック・フェスティバル、タングルウッド音楽祭(アメリカ)、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭(ドイツ)が「世界3大教育音楽祭」と言われている。



芸術文化による札幌の魅力創出事業（文化部）ほか1件

8百万円【新まち等】

さっぽろ雪まつりなどの大型イベントに連動して、大衆芸能を紹介する事業に対して補助を行い、新しい札幌の魅力を発信する。

## 2 市民自らが作り上げる文化活動の振興

23百万円（19百万円）

注：（ ）内は17年度予算額

文化活動練習会場学校開放事業（文化部） 19百万円【新まち等、レベルアップ】

音楽、演劇等の文化活動団体に対して、小学校の教室を練習会場として開放する。

舞台芸術創作活動支援事業（文化部）

4百万円【新まち等】

演劇等の舞台芸術に係る創作・発表の活動拠点として、劇団が既存のスペースを借り受けた場合、当該賃借料の一部を補助する。

## 3 札幌の芸術・文化を担う人材の育成

33百万円（35百万円）

注：（ ）内は17年度予算額

キタラファーストコンサート事業費補助（文化部） 30百万円【新まち等】

市内の小学6年生全員が札幌コンサートホールKitara（キタラ）で、オーケストラ演奏を鑑賞・体験するプログラムを継続して実施し、青少年の音楽普及及び振興を図る本事業に対して事業費を補助する。

教文・アート・プロジェクト事業費補助（文化部） 3百万円【配分】

子どもたちの創造性を高めるため、舞台芸術（演劇、舞踊、オペレッタ等）のワークショップを開催し、成果発表として公演を行う。

#### 4 文化遺産の保存・活用と伝統文化、先住民族文化の継承

115百万円(109百万円)

注:( )内は17年度予算額

文化財施設整備事業(文化部)

87百万円【新まち等】

文化財施設の保全改修計画の策定、時計台、豊平館の保存修理工事を実施する。

大型動物化石総合調査事業(文化部)

10百万円【新まち等】

豊平川河床で発見された札幌産カイギュウ<sup>4</sup>化石をはじめ、カイギュウ棲息当時の自然環境とその変遷を明らかにする総合的な調査を実施する。

博物館建設構想推進事業 他1件(文化部)

18百万円【配分】

博物館活動センターを活動拠点として、市民とともに成長発展する博物館づくりを進めるとともに、資料の収集・整理保存、調査・研究、普及・交流などの活動を引続き展開する。

#### 【成果指標】

45. 主要芸術・文化施設の利用者数

【目標】185万人 190万人 【効果】+5万人(累計190万人)

46. 学習・研究の種類別行動者率(芸術・文化)

【目標】9.3% 9.5% 【効果】+0.2%(累計9.5%)

47. 趣味・娯楽の種類別行動者率(演芸・演劇・舞踊鑑賞)

【目標】15.7% 16.4% 【効果】+0.7%(累計16.4%)

<sup>4</sup> カイギュウ・・・大型の海生哺乳類の一グループで、今生きているものではジュゴンやマナティーが知られている。

## イ スポーツの魅力あふれる街の実現

市民の誰もが身近でスポーツを楽しめる環境づくりを進めるとともに、地域住民が主体となった地域スポーツクラブを育成するしくみを検討する。また、人材確保のしくみづくりや自然に親しむスポーツ活動の実践を進めていく。

さらに、スポーツにおける札幌ブランドを高めるため、札幌ならではの冬のスポーツの新たな楽しみ方を発信するとともに、地域に根ざしたプロスポーツを市民とともに育てる。

### 1 身近でスポーツを楽しむ環境づくり

21百万円（1,523百万円）

注：（ ）内は17年度予算額

学校体育施設開放の充実（スポーツ部） 10百万円【配分】

新規に2校を開放。（小学校体育館1校、中学校体育館1校）これにより、開放校数は287校となる予定である。

2006北海道国際ユースサッカー大会補助（2002年FIFAワールドカップ記念事業）（スポーツ部） 10百万円【配分】

日本サッカー協会からの助成金で、札幌ドームをサッカー主体で有効活用できる企画（イベント）に補助金を交付する。

地域スポーツクラブ育成支援事業（スポーツ部） 1百万円【新まち等、新規】  
札幌らしい地域スポーツクラブのあり方を調査・研究する。

## 2 スポーツ情報の提供や人材確保のしくみづくり

3 百万円 ( 2 百万円 )

注 : ( ) 内は 17 年度予算額

地域スポーツクラブ育成支援事業 ( 再掲 ) ( スポーツ部 )

1 百万円 【新まち等、新規】

札幌らしい地域スポーツクラブのあり方を調査・研究する。

トップアスリートの積極活用 ( スポーツ部 ) 2 百万円 【新まち等】

トップアスリートと身近に接する機会を提供する。

## 3 トップスポーツの積極的活用

6 百万円 ( 7 百万円 )

注 : ( ) 内は 17 年度予算額

ファイターズ屋内練習場市民開放事業 ( スポーツ部 ) 4 百万円 【配分】

北海道日本ハムファイターズの屋内練習場の市民開放を促進するため、利用料金の一部を N P O 法人に対して補助する。

トップアスリートの積極活用 ( 再掲 ) ( スポーツ部 ) 2 百万円 【新まち等】

トップアスリートと身近に接する機会を提供する。

## 4 ウィンタースポーツの活性化

4 , 6 0 8 百万円 ( 1 , 4 3 1 百万円 )

注 : ( ) 内は 17 年度予算額

2007 年 F I S ノルディックスキー世界選手権札幌大会事業費補助 ( スポーツ部 )

3 , 8 0 1 百万円 【新まち等、その他】

2007 年 2 月 ~ 3 月に開催する同大会を市民参加のもとに盛り上げ成功に導くとともに、これを契機としてウィンタースポーツの振興につなげていく。このため、同大会の開催準備及び大会運営を行う組織委員会に対して補助する。

2007年F I S ノルディックスキー世界選手権関連施設整備（スポーツ部）

802百万円【新まち等】

同大会に向けて国際基準に適合するように、白旗山競技場、大倉山ジャンプ競技場、宮の森ジャンプ競技場の整備を行う。

ウインタースポーツフェスタ in 大倉山（スポーツ部、中央区）

3百万円【新まち等】

大倉山ジャンプ競技場を利用して、市民・観光客向けの冬のスポーツ・レクリエーションイベントを展開する。

ウインタースポーツ振興事業（スポーツ部） 2百万円【新まち等】

ウインタースポーツの活性化を図るため、地域の取組状況等の調査と、身近にウインタースポーツに親しめるような地域レベルでの活動を推進する。

## 5 健康づくり運動とスポーツ振興の連携

8百万円（2百万円）

注：（ ）内は17年度予算額

さっぽろスポーツキャラバン隊（スポーツ部） 8百万円【新まち等】

市民ニーズに対応したスポーツ活動のきっかけづくりとなるようなプログラムを企画し、地域に出向いて提供する。

### 【成果指標】

48. 週に1回以上スポーツをする人の割合（成人）

【目標】30.7% 40% 【効果】+9.3%（累計40%）

49. 直接スポーツ観戦をする人の割合

【目標】41.8% 50% 【効果】+8.2%（累計50%）

50. スポーツボランティアの経験がある人の割合

【目標】9.1% 20% 【効果】+11.9%（累計20%）

## 4 事務事業の総点検

### (1) 事務事業の見直し

#### 内部効率

その他事務事業の効率化などによる見直し <見直し額 20 百万円>

施設の保守レベルなどの見直しによる経費節減 <見直し額 285 百万円>

### (2) 受益者負担

文化活動学校開放利用券収入 (100 円 / 時 300 円 / 時)

<見直し額 3 百万円>

スポーツ学校開放利用負担収入 (300 円 / 時 600 円 / 時ほか)

<見直し額 46 百万円>

### (3) 団体補助金

札幌カップ国際アイスホッケー大会

<18 年度要求額 15 百万円 / 見直し額 2 百万円>

札幌クロスカントリー大会

<18 年度要求額 0 百万円 / 見直し額 1 百万円>

札幌ペンタスロン

<18 年度要求額 0 百万円 / 見直し額 4 百万円>